

学校だより

横浜市立十日市場小学校

10月号

令和2年9月30日(水)

緑区十日市場町1392-1番地

横浜市情報ネットワーク(YYネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.sch/es/tookaichiba/>

電話 : 981-0420・7119 FAX : 983-1694

前に進もうとする力強さ

校長 平田 あや

暑さもようやく落ち着き、朝夕の風に秋の気配を感じるようになってきました。

早いもので来週の金曜日ー10月9日で、前期が終了します。6月1日の学校再開から80日間。いろいろな制限がある中ではありましたが、校舎内を見回ると、新しい生活様式に則りながらしっかりと学習に取り組む姿、友達と協力し合いながら解決に向かう姿、そして子どもたちのために一生懸命工夫して授業を行う教職員の姿を見ることができました。

先日、1年生の児童が、育ててきたアサガオの種を収穫する場面に出会いました。収穫できた30粒以上の種を、苦労しながら一粒ずつ数えていた子に、近くにいた子が「並べてみようよ。」と声をかけていました。アサガオの種をカップに入れていた子が、それを振って音を楽しんでいると、「楽器みたいだね。」と周りの子が嬉しそうに見つめていました。子どもたちは、自分が疑問に思ったことや、やりたいと思ったことが、次の課題になることで、主体的に学習に取り組み、学びを深めていくことができます。

今年度から全面実施となった新しい学習指導要領では、「生きる力」を育むために、主体的・対話的で深い学びの重要性が謳われています。周りの人と共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業が求められているのです。コロナ禍の現在、グループになって友達同士の対話をすることが難しい状況ではありますが、その分、教師が意図的に子どもたちのつぶやきを拾い、つなげ、学びを深められるよう、工夫をしていかなければなりません。アサガオの収穫という一つの活動からでも、学習は広がり、次の学習の課題が生まれてきます。今後も、子どもたち一人一人の思いを大切に作る授業づくりを目指していきたいと思えます。

また、本来ならば、前期は、運動会や校外学習、縦割り活動などを行い、学年の団結を高めたり、様々なふれあいを通して心の結びつきを強めたりする時期となるはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、様々な活動が、延期・中止となっています。

先日のお便りでもお知らせしましたが、今年度の運動会は、規模を縮小して実施することにしました。全校児童や多数の参観者が集まることを避け、学年ごとの演技や競技を発表する形です。そのため、リレーや応援団の活動はありません。これらの活動を楽しみにしていた子どもたちの気持ちを思うと、本当に心が痛みます。

しかし、子どもたちは強い。落胆ばかりはしていません。先日、運動会選手宣誓の代表児童選考会に、私も参加させてもらいました。6年生7名の児童が、目を輝かせて集合していました。「本当は、6年生で応援団長になりたかった。できないなら、せめてこの役を通して、自分の力を出したい。」「最後の運動会。6年生として、自分にできる精一杯の運動会にしたい。」そんな言葉が聞かれました。自分にできることを考え、前に進もうとする力強さを感じた瞬間です。子どもたち一人一人が、喜びや達成感を感じられる「規模は小さいけれど、思い出は大きい」運動会にしたいと考えております。

10月も、保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。